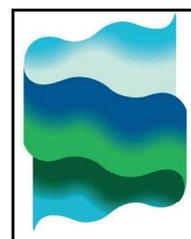




第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭 2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



「邦楽・尺八」祈りの世界

～清流の国から
未来に奏でる日本の心～



◆日時 令和6年10月20日（日）

開場12：00 開演12：25 （リハーサル開場9：00）

◆会場 OKBふれあい会館 サラマンカホール



◆主催

文化庁、厚生労働省、岐阜県、
「清流の国ぎふ」文化祭2024岐阜県実行委員会、
「邦楽・尺八」祈りの世界実行委員会、
岐阜県三曲連合会



主催者挨拶



文部科学大臣 盛山 正仁

第39回国民文化祭が、10月14日から11月24日までの42日間にわたり、岐阜県内各地において盛大に開催されることとなりました。

国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの各関連分野における施策と有機的に連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした「文化の祭典」です。また、各種の文化活動を全国規模で発表、共演、交流する場を設けるとともに、それらの活動により生み出される様々な価値を文化の継承、発展及び創造に活用し、文化芸術の一層の振興に寄与するものとして、昭和61年から開催されて以来、今回で39回目を迎えます。

岐阜県は、古くから交通の要衝、東西文化の結節点であったことから、様々な交流を通じて、祭り・踊り・地芝居など、地域に根付いた多様な文化が生まれ、現在まで受け継がれています。また、豊かな森を源として県内各地を流れる「清流」が、木工芸や美濃和紙、刃物、陶磁器などの伝統文化を育んできたという特徴を持ちます。

本大会に参加される皆様には、地域ごとに特色を持つ岐阜県の多様な文化や自然を肌で感じていただき、本大会のキャッチフレーズである「ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～」のとおり、清流文化が国内外に向けて大きく発信され、文化の継承や新たな文化創造に繋がっていく大会となることを心から祈念しております。

また、本大会は、「清流の国ぎふ」文化祭2024として、第24回全国障害者芸術・文化祭と一体的に開催されています。障害の有無に関わることなく、様々な交流を通じて、あらゆる人々が芸術文化に親しむことのできる共生社会の実現に寄与されることを大いに期待しております。

文部科学省においても、第2期文化芸術推進基本計画に基づき、心豊かで活力ある社会を形成するため、文化庁の移転を契機とした文化芸術による地方創生、食文化や文化観光の推進など、「文化芸術と経済の好循環」を加速し、文化芸術立国の実現に取り組んでまいります。

結びに、開催に当たり格別の御尽力をいただきました岐阜県、開催市町村、文化団体をはじめ、関係する全ての皆様に深く感謝申し上げます。



岐阜県知事 古田 肇

「清流の国ぎふ」文化祭2024（「第39回国民文化祭」及び「第24回全国障害者芸術・文化祭」）が、10月14日から11月24日の42日間、ここ岐阜の地で開催できますことは誠に喜ばしく、国内外からご参加いただく多くの皆様を心から歓迎いたします。

本県は、古来より山紫水明の自然に恵まれ、豊かな森を源とする「清流」が県内をあまねく流れています。その「清流」は、里や街を潤し、飛驒の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東濃の陶磁器など

「匠の技」を磨くとともに、千有余年の歴史を誇る鶺鴒やユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事（高山祭、古川祭、大垣祭）」、「風流踊（郡上踊、寒水の掛踊）」など、世界に誇る伝統と文化を育んできました。「清流」は、自然と人、人と人、地域と地域、そして時代と時代をつなぐ、我々岐阜県民にとってのアイデンティティであり、誇りや魅力の源です。

本大会では、「ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～」のキャッチフレーズのもと、県民総参加による県内42市町村それぞれの「推し」の発見、アート体験による身体と心をケアする文化的処方など、本県文化の「深化」を求めてまいります。加えて、国内のみならず、世界に開かれた文化交流による「発信」、そして今年元日に発生した能登半島地震からの「学び」（復興祈念）をテーマに、300を超える多彩な文化プログラムを展開します。本大会開催を機に、ご参加いただいた方々やご来場いただいた皆様とともに地域への愛着と誇りを再確認し、一人ひとりとともに輝く「共生・共創社会」の実現を目指してまいります。

最後に、本県での開催に格別のお力添えとご支援をいただきました全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

岐阜県三曲連合会会長 田中 燁山

この度第39回国民文化祭／第24回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024において、「『邦楽・尺八』祈りの世界」をOKBふれあい会館・サランカホールにて開催されますこと、誠に有り難く、嬉しく存じます。また全国各地からご参加くださいました皆様方に、心から感謝申し上げます。

日本の中心に位置し、古くから交通の要衝・東西文化の結節点であった岐阜県。様々な交流を通じて、多彩な文化が生まれ、大切に受け継ぐと共に、広く発信し続けてきました。

「邦楽・尺八」祈りの世界では、全国から日本の伝統文化芸術である邦楽（箏、三絃、尺八等）を受け継ぐ人たちが集い、日本の心を奏でる美しい音色を響かせ、共演・交流を深めます。そして、新たに共有した伝統や感動を発信し、未来に継承します。また、戦争・大地震・津波等の犠牲者への哀悼と被災避難者への励ましを込めて演奏します。

◆プログラム

9月20日版

| 出演番 | 団体名 | 演奏曲 | 予定 |
|-----|---------------------------|--|--------|
| ① | 岩田悠&岩田明 (岐阜県) | 鳥のように、小さな思い出たち《さんぽ・かけっこ・憩い・祭り》、風にきけPART2 | 12:30~ |
| ② | HARU kide 箏 ciub (岐阜県) | こどものメドレー、北海民謡調 | 12:45~ |
| ③ | 岐阜県尺八こども教室 | 虚鈴、お月様、ふるさと、アメージンググレイス、夕やけ小やけ、越天楽 | 13:00~ |
| ④ | グループ友雅 (愛知県) | 吾妻獅子 | 13:15~ |
| ⑤ | 松本富有樹&松本求名 (大分県) | 蓮芳軒喜染軒秘曲鶴の巢籠もり、シャコンヌ | 13:30~ |
| ⑥ | 琴古流尺八日本竹道洞門会 (京都府) | 鈴鹿 | 14:00~ |
| ⑦ | 京都無住庵尺八道場 (京都府) | 神保三谷、紫鈴法 | 14:15~ |
| ⑧ | 尺八西園流本曲会 (愛知県) | 普大寺伝西園流本曲 調子、鈴幕、三谷 | 14:30~ |
| ⑨ | 菊川片羽 (東京都) | 奥州(名取市)布袋軒鈴幕 | 14:45~ |
| ⑩ | 普化明暗 (岐阜県) | 虚空、虚鈴 | 15:00~ |
| ⑪ | 旧史光会 国枝吟光 (岐阜県) | 越後秀峰山明暗寺伝 下田(越後)三谷 | 15:15~ |
| ⑫ | 羽島不破尺八道場 不破心輔 (岐阜県) | 琴古流古典本曲 三谷管垣 | 15:30~ |
| ⑬ | 岐阜県三曲連合会 田中燦山 中根西光 | 布袋軒伝 鶴の巢籠 | 15:45~ |

◆舞台でのリハーサル(舞台の確認を基本に、練習は楽屋で実施。)

| リハ予定 | 団体名 | 人数 | 楽屋 | 出演番 |
|--------|------------------|-----|--------|-----|
| 9:10~ | 岐阜県三曲連合会 | 2人 | スタッフ控室 | ⑬ |
| 9:25~ | 普化明暗 | 4人 | 第2楽屋 | ⑩ |
| 9:40~ | 羽島不破尺八道場 | 1人 | スタッフ控室 | ⑫ |
| 9:50~ | 京都無住庵尺八道場 | 8人 | 第3楽屋 | ⑦ |
| 10:00~ | 調整時間 | | | |
| 10:10~ | 尺八西園流本曲会 | 9人 | 主催者控室 | ⑧ |
| 10:20~ | 菊川片羽 | 1人 | スタッフ控室 | ⑨ |
| 10:30~ | 旧史光会 国枝吟光 | 1人 | スタッフ控室 | ⑪ |
| 10:40~ | 松本富有樹&松本求名 | 2人 | 第2楽屋 | ⑤ |
| 11:00~ | グループ友雅 | 7人 | 第4楽屋 | ④ |
| 11:10~ | 岩田悠&岩田明 | 2人 | 第5楽屋 | ① |
| 11:20~ | HARU kide 箏 ciub | 15人 | 第5楽屋 | ② |
| 11:30~ | 岐阜県尺八こども教室 | 24人 | 第6楽屋 | ③ |
| 11:40~ | 尺八日本竹道洞門会 | 8人 | 第1楽屋 | ⑥ |



◆団体紹介&演奏曲解説

① 岩田悠&岩田明 (岐阜県)

鳥のように、小さな思い出たち《さんぼ・かけっこ・憩い・祭り》、風にきけPART2

団体紹介 沢井箏曲院鹿野麻稀研究室に所属する岩田悠と岩田明の二人による箏曲演奏。

解説 現代箏曲の人気曲、沢井忠夫作「鳥のように」と、吉崎克彦作「風にきけPART2」の独奏と、二人の為に鹿野竜靖が作曲して、第8回利根英法記念邦楽コンクールで奨励賞を受賞した「小さな思い出たち」の箏二重奏を演奏。

箏 岩田悠、岩田明



② HARU kide 箏 club (岐阜県)

こどものメドレー、北海民謡調

団体紹介 令和5年春、垂井町の民間学童「HARU kide club」でスタートした箏クラブ。子供を中心に、保護者も一緒に楽しく練習している。

解説 こどものメドレー(童謡)沢井忠夫編曲と北海民謡調(民謡)宮城道雄作曲・三味線手付藤原睦子、を演奏する。

箏 鈴木 杏、柏りんか、吉田ひかり、池田幸盛、佐藤すず、岩田 明
安田真彩、岩田悠、岩田ちひろ、安田寿江、石原みゆき、島田雅子
成迫美恵子、鹿野麻稀
三絃 馬田落佳

③ 岐阜県尺八こども教室 (岐阜県)

虚鈴、お月様、ふるさと、アメージンググレイス、タヤけ小やけ、越天楽

団体紹介 昭和62年に岐阜県三曲連合会設立。青少年への普及に努め、平成16年に文化庁の支援事業で尺八こども教室を開始。国民文化祭の第27回徳島2012、第28回山梨2013、第31回愛知2016、第32回奈良2017、第33回大分2018、第34回新潟2019、第38回石川2023に出演。毎年正月、サラマンカホールにてジュニア三曲コンサートを開催。本年34回を迎えた。

解説 虚鈴は中国唐代に作曲され、鎌倉時代に伝えられた素朴で尊重された曲。尺八の響きが心地よい童謡の間に、イギリスの牧師の作詞による賛美歌で、特にアメリカで最も慕われ愛唱されているアメージンググレイスで感謝の思いを伝える。最後の越天楽は雅楽で最も有名な曲で、子供たちの幸せを祈り祝福する。

尺八 今井琉希、今井飛佑、林 拓実、北島愛琉、斎藤莉々彩、土井内駿太、
高木俊朗、安井菊乃、笠原 望、引頭榛那、船原未優、猪俣幸子、
圓師由子、澤田 蘭、浅野紫音、早野文萌、豊永妃那、西村若那、
山北 杏、橋本若奈、金森有香、金森智加、鏝田実沙季、中根西光

④ グループ友雅 (愛知県)

吾妻獅子

団体紹介 九州系地歌三絃の名手川瀬里子に師事し、東雲会を主宰した井上道子の門下である久米雅子を代表として結成されたグループ。箏・三絃の古典を中心に、名古屋を拠点にして演奏活動に取り組んでいる。今年は、1月に名古屋での「新春演奏会」、3月に東京での「第48回生田流協会定期演奏会」、6月に東京での「第53回生田流協会奨励会」、7月に名古屋での「夏の邦楽祭り」等々に出演している。



解説 地歌。手事物。獅子物。作曲は峰崎勾当、作詞は長堀丁々。伊勢物語の有名な在原業平の東下りから題材を取り、気取った男が在原業平気分で江戸で遊び、別れ際に扇をかざして獅子舞を舞う内容である。男女の情愛を獅子歌に取り入れ、手事に砧の地を入れて、華麗な旋律とした地歌である。生田、山田共人の珍重する古曲である。

三絃替手 久米雅子
三絃本手 辛嶋和子、清水啓子、柴田さと子、渡邊澄子、高木七三子
尺八 河内司柳

⑤ 松本富有樹&松本求名 (大分県)

蓮芳軒喜染軒秘曲鶴の巢籠もり、シャコンヌ

団体紹介 松本富有樹のギターと松本求名の尺八のデュオ。富有樹はバーゼル音楽院・スコラカントルム大学院卒。パブロマルケス、ホプキンソンミスに師事。求名は都山流大師範。徳丸十盟・佐藤貞観に師事。共に時代やジャンルを超えたレパートリーを持ち、国内外のコンクールで首席・入賞が多数。デュオとして音楽祭や老人ホームでの演奏で好評を博している。

解説 鶴の巢籠もりは、神如道が神保正之助門人引地古山その他から学び、蓮芳軒喜染軒所伝として伝承した。本曲のあらゆる技法を駆使し、個性的な旋律と構成からなり、古典尺八本曲の最高峰とも称される。求名の独奏。

シャコンヌは、バッハが35歳頃、最初の妻が子供を残して他界した。その頃作られた悲しみや慰め、祈りの込められた名曲。尺八と古楽ギターの二重奏に編曲。時代と洋の東西を超えた共演をお楽しみいただければと思う。1557年、大分は府内にて日本人信徒たちの二つの聖歌隊が聖歌を歌ったことが、イエズス会の書簡に書かれている。日本人が自ら歌った西洋音楽の最初の記録である。これに因んで大分県庁前に、ヴィオラ・デ・アルコ（古いヴァイオリン）を弾く宣教師と大きく口をあいて歌う日本の子供たちの銅像が立っていて、日本の西洋音楽発祥の地と碑文が記されている。キリシタン大名として有名な大友宗麟公はその年27歳。どのような気持ちでそれらの音楽を聴いていたのだろうか。グレゴリオ聖歌のクレドが箏曲六段の調べの構成のもとになっているという説がある。静かな小さな東西の音楽交流が行われ始めた。しかし、その後の禁教令や鎖国で、日本における西洋音楽はしばらく途絶えてしまうのだが、ヨーロッパではルネッサンスからバロック時代になり、巨星バッハが現れ比類なき作品を書き残した。その中でも器楽曲の最高傑作ともいわれ高い精神性を持つのがシャコンヌである。1600年、織田秀信の岐阜城落城まで、「セミナリヨ」に於いて西洋音楽が奏でられていたという。当時の岐阜を想像してみてもいいだろう。

古楽ギター 松本富有樹
尺八 松本求名

⑥ 琴古流尺八日本竹道洞門会 (京都府)

鈴鹿

団体紹介 琴古流日本竹道学館の京都支部の流れをくみ、新たに日本竹道洞門会を結成して活動している。坂本尚童代表。京都三曲協会の立ち上げからのメンバーとして、定期演奏会に参加。尺八普及活動として、京都市スカイセンターのクラブとして、「尺八の音色を楽しむサークル」を主催し活動している。

解説 兼安洞童が昭和12年8月に作曲したもの。清らかな山の景色の中、荷物を運び終わった馬子が、帰りの峠道で、馬の背に腰掛け、穏やかな気持ちで鼻歌交じりに下ってゆく様子をイメージしている。

尺八 吉田妙童、田中新童、深見翔童、湯浅輝童、白子彰童、坂本尚童、
李三穂童、内匠俊輔

⑦ 京都無住庵尺八道場 (京都府)

神保三谷、紫鈴法

団体紹介 1973（昭和48）年創立。京都に本部があり、主として古典尺八音楽の演奏及び教授活動を行っている。アメリカのニューヨーク・コロラド・テキサスに支部があり、アメリカ各都市やヨーロッパ・中国でも活動を展開している。主宰者の二代目倉橋

容堂は、京都明暗寺虚竹禅師奉讃会理事長、京都三曲協会理事。2012年には「国際尺八フェスティバルin京都」を主催、2022（令和4）には第77回文化庁芸術祭（音楽部門）優秀賞を受賞。

解説 神保三谷は、古くから新潟県下田村の越後明暗寺に伝わった「越後三谷」を、明治中期に同寺最後の住職堀田侍川と尺八名手神保正之助が共同改作し、名曲として価値を更に高めたもの。この曲は京都に伝わり「神保三谷」と称されている。倉橋容堂の独奏。紫鈴法は、有名な一休禅師の作曲と伝えられているが異説もある。山里の夕暮れ時の長閑な気分と、人生の黄昏時の寂寥感を感じさせる穏やかな曲である。容堂と道場の日本、米、チェコ、中国、フィンランドの方々と演奏する。

尺八 倉橋容堂、ハウザー桂堂、ジョンソン霜堂、吉田工山、月藍堂、城之内瑚容、李嘉徴、ヘイッキ・ルーカス

⑧ 尺八西園流本曲会（愛知県）普大寺伝西園流本曲 調子、鈴慕、三谷

団体紹介 普大寺伝西園流本曲を伝授した西園流及び東海地区本曲愛好家会。伝承曲十一曲を伝承し、次世への伝承を目指し日々精進している。生涯学習と地域文化の次世への伝承と邦楽の高揚、尺八の普及を目指し日々活動している。主宰は大重普竹。大重普竹は20代より西園流大師範大釈艸園氏に師事し2016国民文化祭愛知の出演代表を務め、2019年七代宗家に就任、西園流本曲会を主宰、地域に於いて尺八愛好団体（普竹会）を主導する一方、名古屋の小劇場で尺八の日演奏会、邦楽何でも演奏会、普大寺伝本曲会寿演奏会を主催。現在尺八西園流相談役。

解説 調子は、作者は不明である。曲の序奏として用いられるが、独立した曲であって、調べ、音取りといった類いのものではない。曲全体の音感が温和で格調の高い曲である。全部で十八息（十八小節）で短いが、よく整った名曲である。鈴慕は、1249年唐より帰朝した心地覚心が帰国時唐より移入した普化尺八の一曲。その後、普大寺の所伝曲を幕末西園流一世兼友翁が十一曲伝授した曲中の一曲。古い曲で自身行化の曲でもあり、普化尺八の祖、普化禅師の昇天を、張白が禅師を慕って吹いた曲との説がある。三谷は、遠州浜松の虚無僧寺普大寺所伝古曲十一曲中の一曲。江戸期の曲で、一説によると出羽三山詣出、祈願の曲で、吹奏により自身の行化と天下泰平・人々の幸運、安全を祈る曲と言われている。大重普竹の独奏。

尺八 山口西園、奥山翔園、山田梓園、大釈真佐俊、後藤叶保、岡田 望、渡辺直子、長江嘉尹、大重普竹

⑨ 菊川片羽（東京都）奥州（名取市）布袋軒鈴慕

団体紹介 菊川片羽は、岐阜県出身、東京都在住。岐阜の全国古典尺八普及会にて古典尺八を習得。現在、虚無僧活動や尺八関連の研究をしながら、自身が代表の古典尺八楽愛好会にて伝承活動を行う。岐阜や首都圏での演奏会で活躍している。岐阜では貴重な女性尺八家である。

解説 この曲は小梨錦水が浦本浙潮に伝えた名曲で、本来はもっと長曲であったのを、小梨錦水によって、抜粋まとめられたものと言われている。正に赤壁の賦の「恨むが如く泣くが如く訴えるが如く余韻嫋々として絶えざること鏤の如し」といった、奥州系の代表的名曲である。

尺八 菊川片羽



⑩ 普化明暗（岐阜県）虚空、虚鈴

団体紹介 普化宗は禅宗のひとつで、唐の普化が開祖。建長年間（1249～1256）に伝来。江戸時代に栄え、宗徒は虚無僧と称して尺八を奏し、諸国を遍歴修行。明暗流は普化宗の本寺である京都の明暗寺に伝承された芸系の通称である。「普化明暗」は、岐阜の虚無僧行脚のイベントの中核団体として活躍し、貴重な存在となっている。古田虎山は、岐

阜の普化明暗尺八の代表の一人。竹内史光師にも師事した。

解説 虚空は、古伝三曲中第二番目に位置する曲で、その格調の高さと、旋律の美しさは、古典曲中白眉といえる。古田の独奏。虚礼は、法燈国師が中国人張参居士より習って帰国したと伝えられる。霧海簾、虚空と共に三虚鈴と云い、普化宗では最も大切にされた曲で、寺院の法要等にも用いられている。古田・西村・土本・安藤との連管。

尺八 古田虎山、西村虎吼、土本虎京、安藤虎珀

⑪ 旧史光会 国枝吟光 (岐阜県)

越後秀峰山明暗寺伝 下田(越後)三谷

団体紹介 竹内史光師に尺八の手ほどきを受け、免許皆伝で、東京国立劇場や東海地方での大きな演奏会に数多く出演している。

解説 越後秀峰山明暗寺の開祖は、的翁文仲、元は菅原吉輝という武将であった。この寺は代々堀田姓を名乗り、15代侍川にて明治4年の普化宗廃止となる。新潟県下田村大字中野原に、明暗寺跡と、昭和48年に保存工事が完成した墓地がある。下田三谷と鈴慕の2曲は、この寺に伝わった異色の名曲である。明暗寺最後の座主堀田侍川の弟子であった齊川梅翁より、昭和30年新潟の小山峰嘯に伝えられ、昭和55年に小山峰嘯より竹内史光が習得した。

尺八 国枝吟光



⑫ 羽島不破尺八道場 不破心輔(岐阜県)

三谷管垣

団体紹介 琴古流竹友社の羽島不破尺八道場は、尺八研修生及び系方三社中で、各社中ごとに古典三曲合奏練習を月一回ずつ行っている。竹友社宗家・川瀬庸輔師に三か月に一回個人対面指導を受けている。代表は不破心輔。

解説 琴古流古典本曲、裏組の一曲。各流派により多くの「三谷」を含んだ同名風の異曲あり、およそ十数曲を数える。また、「三谷」の解釈にも地名説など諸説あり、定まっていない。しかしながら、哀愁漂うこの曲を愛する人は多く、明るさが基調の「雲井獅子」と並んで、竹友社の演奏会では定番の曲となっている。また、慶事に際して献奏することも多く、本日は清流の国ぎふ文化祭に感謝と安寧への祈りを込めて演奏する。

尺八 不破心輔

⑬ 岐阜県三曲連合会 田中燁山 中根西光 布袋軒伝鶴の巢籠

団体紹介 田中燁山は岐阜県三曲連合会の会長。中根西光は、竹内史光初代県三曲連合会会長の時より事務局員として努力。文化庁親子文化事業「尺八こども教室」を実施。毎年、岐阜県ジュニア邦楽三曲コンサートを開催。今年1月、当ホールにて第34回目を実施した。将来の邦楽界を担う優秀な若者が育っている。

解説 鶴の巢籠は、同名異曲が十数曲あると云われる。宮城県に在った布袋軒という普化寺で、小野寺源吉らよって伝えられた曲。古典曲中最も写実的な曲で、二段に分かれている。先ず山寺の鐘の音が流れ、万物が眠りより醒めてゆく、次に雄雌交互に様々な鳴き方を現す。次いで羽ばたき、大空高く飛翔する様を現し、静かな夕方の情景によって初段を終わる。二段は山寺の鐘によって夜の明けゆく感じに始まり、次いで親鳥と雛鶴が交互に鳴き交す。秘伝「子別れの手」によって最高潮に達する。終曲は祝福の美しい旋律によって結ばれる。この曲は、人間の夫婦、親子の愛情と、人間の生きる喜びや哀しみを一本の尺八に托してうたい上げられたもの。乳井建道が受け継ぎ、広沢静輝に伝承され、竹内史光が習得。竹内史光より直伝で中根西光が習得。この曲のみ口伝により一尺七寸管を使用。

尺八 田中燁山 中根西光

第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭

「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～

2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)

(1) 名称

- ① 正式名称 第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
- ② 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024 にせんにじゅうよん

(2) キャッチフレーズ

ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～

(3) 主催者 文化庁、厚生労働省、岐阜県、岐阜県実行委員会、県内市町村、市町村実行委員会、文化関係団体、障害者関係団体 等

(4) 会期 2024(令和6)年10月14日(月・祝)～11月24日(日)42日間

(5) マスコットキャラクター (「清流の国ぎふ」マスコットキャラクター)
 「清流の国ぎふ」文化祭2024の参加者や応援する県民に、法被を着た「ミナモ」がエールを送っている姿を表現しています。青色のラインは、清流の川が輝きながら流れ、未来に向かって夢が広がっていく様子を表しています。



(6) ロゴマーク

職人の業と清流の恵みを受けて作られる美濃和紙の波打つような一巻と、川の流れを重ねてデザインしています。場所ごとに色合いを変える清流、時の流れ、清流のある景色をイメージしています。また、隠し絵風に入れられた人の輪郭は、脈々と受け継がれていく文化の継承という側面を組み込んだものです。清流文化がその時代に合わせて進化し続けるようお願いが込められています。



(7) ポスター

岐阜の美しい「清流」と「人」を描いた作品です。「清流の国ぎふ」文化祭2024が開幕するまで、ひとつ、またひとつと新たな作品が展開し、物語として繋がっていきます。このあと清流文化の物語は、どう紡がれていくのか。自由に想像してみてください。

物語の考案:大会総合プロデューサー 日比野 克彦
 ポスター原画制作者:岐阜県立岐阜各務野高等学校2年 不破 彩心



(8) 基本方針

「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」の開催にあたっては、次の4つの柱を基本として取り組みます。

- ① 「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
 文化芸術の灯で県民が一つになり、総参加で日頃の文化芸術活動の成果を発信する大会にします。また、本県ならではの自然、歴史、伝統、技、産業、暮らし、文化、食など、これまで発掘し磨き上げてきた持続可能(サステイナブル)な地域資源の魅力や、世界に認められた「ぎふブランド」を、県民の誇りとして、国内外に発信する大会にします。
- ② 次世代を見据えた文化芸術の創造
 コロナ禍で縮小せざるを得なかった文化芸術活動を未来に向けて再び始動し、地域の文化芸術を創造する大会にします。また、デジタル技術を積極的に活用して、文化芸術とデジタル化の融合を図るなど、新たな文化芸術の価値を創造する大会にします。
- ③ 文化芸術で人が輝く共生社会の実現
 年齢、性差、障がいの有無などにかかわらず、誰もが多彩な文化芸術に親しみ、その魅力を共有し、一人ひとりが輝く「共生社会」の実現に向けた大会にします。
- ④ 国民文化の大交流の実現
 日本の中心に位置し、古くから我が国の東西文化の結節点である本県において、国内外から多数の人々が交流することによって、国内最大の文化の祭典に相應しい、多彩な国民文化の大交流を実現する大会にします。

(9) テーマソング 「君が明日と呼ぶものを」 作詞:松井五郎 作曲:沢田完

「清流の国ぎふ」文化祭2024「邦楽・尺八」祈りの世界 実行委員会事務局

| | | |
|-------------------------------------|-------------------|-----------|
| 〒501-3107 | 岐阜県岐阜市加野6-22-3 | 岐阜県三曲連合会内 |
| TEL : 058-241-0108 | 担当 中根理記 | |
| FAX : 058-241-0108 | | |
| 携 帯 : 090-8475-8925 (中根理記) | | |
| E-mail : mas_nakane@yahoo.co.jp | | |
| 〒505-0126 | 岐阜県可児郡御嵩町上恵土986番地 | 高木俊朗 事務局 |
| 携 帯 : 090-8073-3523 | | |
| E-mail : toshiro02161010@outlook.jp | | |